

# トップコミットメント

「真摯なものづくり」の追求、それがステークホルダーとの良好な関係と持続的な成長につながる、ミネベアはそう信じています。

## 「ものづくり」への情熱こそ ミネベアの原点

私たちミネベアは、2011年に創立60周年を迎えます。長きにわたり事業を続けてこられた背景には、「真摯なものづくり」への情熱とこだわりがあったと自負しています。「真摯なものづくり」とは、より高い品質の製品を誰よりもより多く効率的に生産し、世の中に提供することを意味しています。企業は厳しい市場競争の中を生き抜かねばなりません、私たちは健全な競争にむしろ積極的に参加することで、こうした信念・哲学を培ってきました。

競争の中で無駄を廃し、究極の効率化、最適化を追求する——私たちが言う「ものづくり」にはこうした思想が含まれているのです。また、「真摯なものづくり」を追求する過程においては、ミネベアにかかわるすべての人々との対話を通し、良好な関係を築き、守ろうとする姿勢が不可欠です。こうした考え方は、代々の経営者たちによって受け継がれてきました。

そして、従業員やお客様、株主の皆様、地域社会、国際社会といったステークホルダーの皆様とどのような関係性を築くべきかについては、約15年前に作られた、ミネベアの経営方針である「五つの心得」に明確に記されています。これは、ミネベアが社会的責任を果たすための基本的な考え方であり、ミネベアらしさをかたちづくるすべての活動の原点となっています。

## 効率化の追求で環境負荷を低減

私たちは創業より、あらゆる面で無駄のない製造ラインの構築、エネルギー効率の最大化などを追求してきました。製造プロセスから無駄を排除し、そして製品自体の機能や効率を追求することが、ひいては省エネルギーや省資源、廃棄物の削減など環境負荷の低減につながるのです。

私たちは1972年のシンガポール進出をはじめとして、タイ、中国、北米、欧州など海外に製造の場を拡げ、地域とともに成長してきました。その中で、タイ工場や上海工場の工場排水100%リサイクルや、地域に適した省エネルギー対応など、設備投資を含めた取り組みを積極的に進めてきました。また、各国の法規制遵守に留まらず、自主的に高いレベルの基準を設けた製造拠点の整備と管理を行ってきました。それは環境への配慮だけではなく、私たちの誠実な対応によってその国や地域の人たちに受け入れられることが、長期的な事

業継続を可能とし、各地で究極のものづくりを実現する礎（いしずえ）になると考えているからです。

そうした取り組みが、結果的に「環境に配慮した企業」として米国やタイ、中国の政府機関から環境関連の表彰をいただくなど、各地でのご評価につながったものと考えています。

## ステークホルダーとの対話

効率化や無駄をなくすことによる環境配慮、地域社会との信頼関係の醸成と同様に、従業員、お客様、株主の皆様、国際社会、お取引先様との良好な関係を目指すことによりミネベアの「ものづくり」が実現されます。

例えば、製品をつくるのは一人一人の従業員であり、従業員にとって働きやすい最適な環境を整えることは、無駄のない効率的なものづくりにつながります。そのため私たちは、従業員の声に耳を傾けて率直に対話を重ね、会社としてできることを一つ一つ実行してきました。例えば、気温の高いタイでは、従業員の要望に応じて送迎用バスや製造現場、食堂などに冷房設備を早い段階から導入し、より良い職場環境づくりに力を入れてきました。冷房の導入だけを見れば環境負荷を高めているように映るかもしれませんが、こうした取り組みが従業員の士気および現場の生産性を高め、結果として最も無駄のない効率的なものづくりの実現につながるのです。

ミネベアは、1970年代初頭より海外生産を行っています。約40年間にわたりそれぞれの拠点で良好な労使関係を維持しています。それはこうした地道な対話の積み重ねによるものと考えています。これからもミネベアの「真摯なものづくり」の実現に向けて、従業員をはじめとしてすべてのステークホルダーとコミュニケーションを図り、信頼関係を一層高めることに努めていきたいと考えています。

## 総合力・多様性を生かし、 真のグローバル企業へ

ミネベアは、1970年代から成長の場を海外に求めて事業を展開してきました。現在は、世界16カ国に製造拠点があり、さまざまなバックグラウンドの従業員が、互いに切磋琢磨するグローバル企業として、海外拠点同士がサポートしあえるほどにまで成長しました。

私は社長に就任して以来、ミネベアの総合力と多様性が最

大限に発揮されるようグループ内の組織改編に力を入れています。例えば、配置転換や業務支援、研修を所属や地域の垣根を越えてグローバルに行うなどの取り組みを積極的に進めています。

多種多様な製品を生み出している国際色豊かな人材が、それぞれの強みと能力を融合させて、より良い製品づくりができるよう、ミネベアグループの真のグローバル化を目指していきたいと考えています。

## ミネベアの原点をつなぎ、未来へ

こうして、これまでにミネベアが築いてきた「ものづくり」の哲学を、次世代を支える世界中の従業員に深く染み込ませ、40年後のミネベア100周年に向けた基盤をつくるのが、私の重要な責務の一つと考えています。

そのためには、これまで以上に従業員とのコミュニケーションを大切にしなければなりません。同時に、時代の変化、社会からの要請の変化に柔軟に対応していくために、社外のステークホルダーとの対話を一層積極的に行っていく

必要があります。

そこで、私たちに求められている社会的な責任を果たしていく上で社内外との窓口および社内調整の役割を担う部署として、2009年にCSR推進本部を設置いたしました。また、2010年には「ミネベアグループのCSR基本方針」を策定し、会社の方向性と従業員の意識を一つにしていきます。

私たちは、これからもミネベアらしさの象徴である「真摯なものづくり」を時代に合わせて進化させ、いつまでも社会に役立つ企業でありたいと願っています。

今回、ミネベアとして初めてCSR報告書を発行します。この報告書を通じて、皆様に私たちの事業活動を知っていただき、また、ご意見を頂戴して今後の企業活動に反映させてまいります。たくさんの皆様からの忌憚ないご意見をお待ちしております。

代表取締役 社長執行役員  
貝沼由久

貝沼由久

